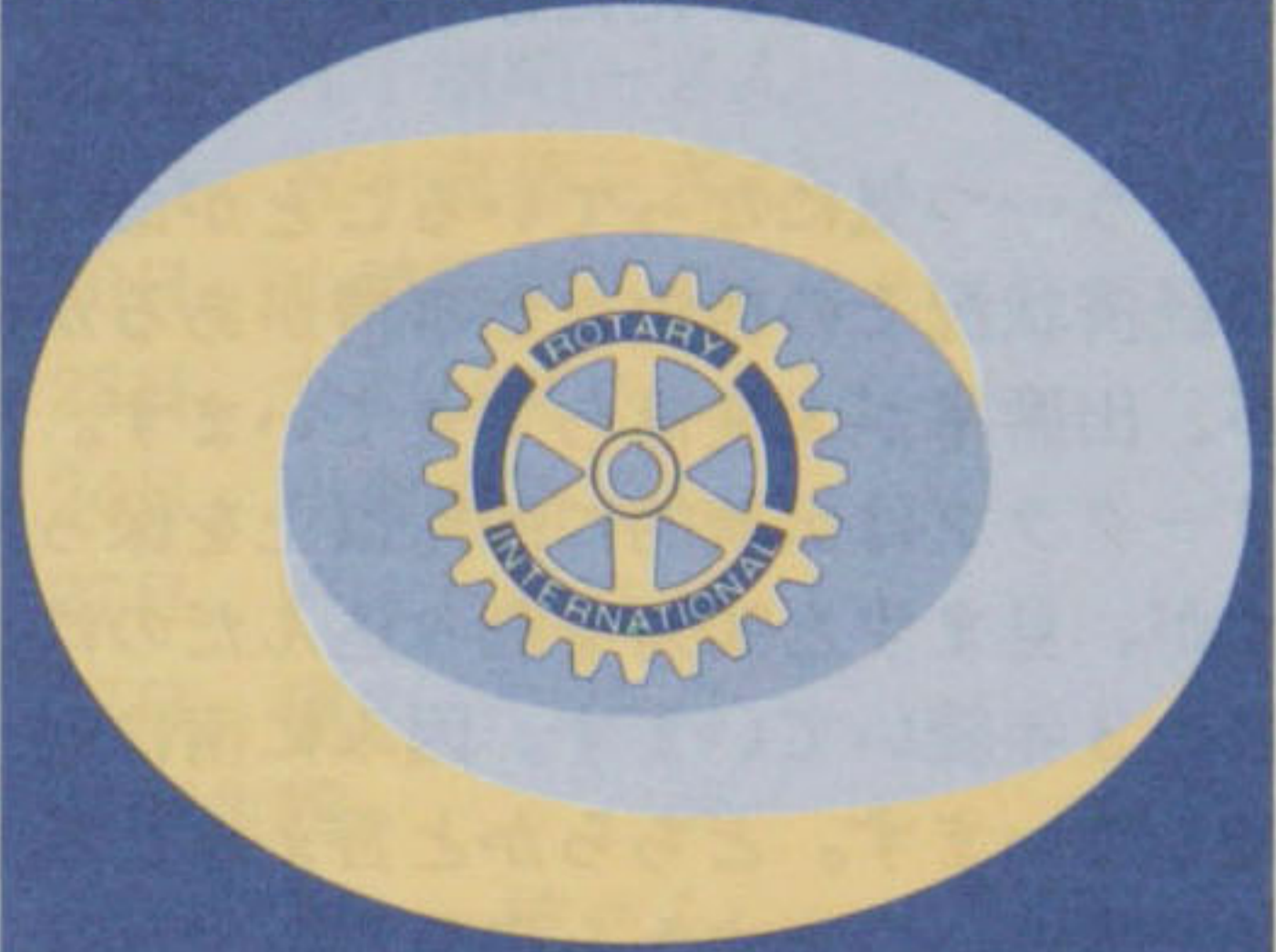


意識を喚起し



進んで行動を

私達の使命は…

…私達のクラブ

…地域社会

そしてあまねく広く世界において

2000～2001年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区 — 吉田 昭 平  
ガバナー — 斎藤 弘 文  
会長 — 五十嵐 昭 一  
会長エレクト — 松谷 昊 吉  
副会長 — 丸山 行 彦  
幹事 — 清水 良 一  
副幹事 — 荻根 沢 隆 雄  
S A A — 中村 和 彦  
副 S A A

例会日 — 毎週水曜日 12:30 ~  
例会場及び — 三条市旭町2-5-10  
事務局 — 三条信用金庫本店内  
例会場 — TEL 35-3311  
事務局 — TEL 35-3477  
FAX 32-7095

本日出席会員数	68名中 51名
先々週出席率	82.09%

### 先週のメイクアップ

12/21 加茂へ  
捧賢一さん、斎藤 隆さん  
12/22 燕へ  
五十嵐総一さん、五十嵐晋三さん  
12/22 吉田へ  
渡辺勝利さん  
12/25 三条南へ  
古沢富雄さん、斎藤弘文さん、  
菊池 涉さん、樺山 仁さん、  
清水良一さん、斎藤 隆さん、  
捧賢一さん、五十嵐晋三さん、  
加藤紋次郎さん、金子俊郎さん、  
高畑 昭さん  
12/26 三条北へ  
古沢富雄さん



## 会長挨拶

斎藤弘文会長

ご挨拶申し上げます。

今日の例会は、20世紀最後の例会と言うことで大変意義ある記念すべき例会であると思います。私もお陰様をもちまして皆様の温かいご支援に因りまして、無事に半年過ぎさせていただきました事に感謝申し上げます。

先般の例会にも申し上げましたが、残念なことに外山一郎さんが亡くなられて22日に葬儀が行われましたが、岩井葬儀委員長さんの下で、言葉が相応しくないかも知れませんが、大変立派な葬儀であったかと思えます。故人もきっと大変喜んでおられることと思えます。お通夜、葬儀共々幹事の丸山さんを初め多数の会員の方々が参列された事を大変嬉しく思っています。

私の本年度の目標の一つに「会員の退会防止と増強」を第5番目に挙げさせて貰いました。年度始め早々に、宮川ガバナーが急逝されたので、今

年は波乱の年になるかと恐れていました。

当クラブから、残念ながらこの半年の間で7名の大事な会員が去ってしまいました。

上木会員、内山会員お二人共会長経験者ですが、残念ながら健康上との事で去っていかれました。その後、今世の中で企業の合理化の為にリストラの嵐が吹き荒れています。営業所の統廃合という形のなか、NTT三条所長の芝野会員が去っていかれました。先ほど言いました様に外山一郎さんが、又北越銀行の支店長の岩淵会員が萬止むを得ずの事情で退会されました。今回、滝沢富雄会員が本当に健康上の事で区切りの良いところでやめさせて貰いたいと申し出があり、先ほど発表がありました通り「ニコニコボックス」に多額の寄付をされ「皆様有り難うございました。」とお礼の言葉を残し退会されました。

半年間で7名の退会者が出たのは、恐らく当クラブが結成以来今まで無かったことと思います。

私はこの会員増強のスローガンをたてた以上、何としても新しく最低5名入会して貰うように密かに誓いをたてました。

本年度はローターアクト創立30周年の節目の年で30周年記念式典を挙げる以上、15名の会員が必要です。式典を挙げるまで何としても3名入会して貰うと私なりに誓いをたてましたが、ローターアクトクラブも式典まで3名の新入会員を迎え、会員総勢15名の下で30周年式典のいろんな行事を立派に挙行することが出来て大変嬉しく思っています。

それから一応新入会員も5名の目処がついたのですが、残念ながらそれを大幅に上回る7名の退会者が出ました。73名で本年度が始まったのですが、もし5名の新入会員（今年2名、来年早々3名）の目処が立たなければ総勢66名となり、クラブの機能が停止してしまう恐れがあります。幸い来年3名の方から入会していただき71名となり何とかクラブとしての機能を維持することが出来ると思います。

もっともっと人材を広く求め、少なくとも75名以上のクラブを目指したいと思いますので、改めて会員増強に対して皆様の格段のご努力をお願い致します。

先般、毎年会員がボランティアとして五十嵐の里へサンタクロースとして慰問を行っていますが、今年はサンタクロースには山田会員、山浦会員が成り、船越会員がクリスマスプレゼントを配ることで訪問しました。

園長さんにお聞きしましたら入所している方々は、この日を楽しみにしており、お土産を貰った姿は本当に嬉しさそのものだったそうです。本当

に疑いのない目で素直に「ありがとう、ありがとう」と言っている姿を見ていると、我々の世界のなかで何か欠けてしまったものがあるかのような気がします。我々も率直に忠実にロータークラブを愛し、入会して良かったと言う気持ちを持って、21世紀も進んでいただければ有り難いと思います。

それからもう一つ気になっていることがあります。昨今の経済状況その他色々な事情があるかと思いますが、出席率が大変落ちてきています。三条ロータークラブは伝統的に90%以上を保ってきたのですが、見ますと90%を割り込んだのは、私の年を含め3年続いています。因みに南は94~95%を維持しています。どちらかと言えば、私共のクラブが一番古いのですから自分たちでプライドを持たなければならぬのですから、是非出席率を高め他のクラブに負けないクラブにしたいと思っておりますので、この辺のところ是非皆様のご協力で出席率を高め、少なくとも先輩各位が築いてこられた90数%に負けない高い出席率を誇れるクラブにしたいと思っております。

全般的に色々お願いしましたが、格段のご協力をお願い致します。では、良いお年をお迎え下さい。

## 幹事報告

### 丸山行彦幹事

◎いからしの里より

クリスマス会ご出席お礼状がとどいております。

◎皆様のお手もとに後期会費、請求書をおくばりいたしましたので、2001年1月31日までに納めいただきますよう、よろしくお願い致します。

◎事務局の年末年始のお休みは12月29日(金)~1月4日(木)までですので、よろしくお願い致します。

## 1月のお祝い



### ◎会員誕生祝

- 11日 五十嵐昭一さん
- 11日 五十嵐晋三さん
- 20日 小越憲泰さん
- 23日 丸山行彦さん
- 24日 川瀬康裕さん
- 27日 野水文治さん
- 27日 樺山 仁さん

### ◎夫人誕生祝

- 1日 林 一枝さん
- 11日 山本晴子さん
- 11日 高畑伊津子さん
- 13日 岩井康子さん
- 14日 鈴木澄子さん
- 16日 山田幸恵さん
- 18日 松谷ムツ子さん
- 19日 五十嵐芳江さん
- 20日 小林恵智子さん
- 26日 早川昭代さん
- 27日 渡辺美代さん
- 31日 佐久間寛子さん
- 31日 小柳由紀子さん

### ◎結婚記念祝

- 7日 捧 賢一さん
- 14日 長谷川有美さん
- 26日 岩井数央さん

### ◎100%出席賞

- 31年 吉井俊介さん
- 17年 五十嵐晋三さん
- 16年 五十嵐昭一さん
- 11年 斎藤弘文さん
- 9年 石橋育於さん
- 8年 丸山行彦さん

## ニコニコBOX



### (故)外山一郎会員

ご家族様よりローター財団900ドル、スマイルに寄付として。

### 斎藤弘文さん

昨日の午前11時15分、初孫が生まれました。女の子です。

### 丸山行彦さん

幹事役をおおせつかり、おかげ様で無事半年すぎました。後半も宜しくお願い致します。

### 岩井数央さん

外山一郎会員の葬儀には、多数の方から御焼香頂き、葬儀委員長として厚く御礼申し上げます。

### 滝沢富雄さん

退会に際し、いろいろとありがとうございました。

### 藤田説量さん

最後のスピーチ責任を感じます。

### 小出子恵出さん

世紀末は良いことが少ない年でした。新しい世紀、来年が元気の出る年になりますように。また皆様からの一年間の御厚情に感謝して。

### 広岡豊作さん

村上岩船クラブの創立総会に出席して来ました。現地の人達と気持ちよくお付き合いをさせて頂いています。

### 渡辺宏策さん

前期末に当り、諸々込。

### 会田二郎さん

ローターでのお世話になった娘が、アメリカから帰って来ました。ローターの皆さんに感謝致して居りました。本当にありがとうございました。

### 高橋 司さん

1年間大変ありがとうございました。藤田先輩の卓話楽しみにしています。

### 早川昭雄さん

息災であった2000年に感謝して。

### 長谷川有美さん

藤田説量さんの卓話を期待しています。

### 五十嵐昭一さん

20世紀最後の例会です。21世紀もよろしくお願い致します。

### 荻根沢隆雄さん

会議所の計らいで会報「石垣」へ随想として載せて頂きましたので、又来年も宜しくお願い致します。

菊池 涉さん

11月から全て欠席でした。せめて、20世紀最後だけは出席したいと願っていました。いろいろありがとうございました。

小越憲泰さん

斎藤会長さんに初孫の誕生おめでとうございます。今年最後の例会に。

橘 直樹さん

いよいよ21世紀へ。来年は年男です。へびの執念で明るい1年となるよう頑張ります。1年間ありがとうございました。

渋谷正一さん

今年の一年は特に一日一日が早く感じられました。無事何事もなく過ごせそうです。

清水良一さん、杉山幸英さん、山田富義さん、斎藤 弘さん、樺山 仁さん、佐野勝栄さん、川瀬康裕さん、佐藤 武さん、渡辺勝利さん、松縄 弘さん、藤田紘一さん、中村和彦さん、小林英雄さん

今年一年お世話になりました。

来年もよろしくお願ひ致します。

12月27日分 ￥ 67,600

今年度累計 ￥565,600

## 卓 話

### 『今大切なこと』

藤田説量会員



今世紀最後のスピーチを、「ロータリーの今までの締めを話をせよ」と斎藤会長さんのご命令ですけれども、私は100年も生きていませんので100年の締めはできません。そこで「今大切なこと」位で誤魔化させてくださいとお願いしたわけです。

私共が、お話しするのはお斎の前にするのであって、食事の後にするのはどうも遣りにくいです。腹が一杯になって眠気が差してから話をせよと言うのは酷なことです、これも又止むを得ない事でしょう。

「今大切なこと」と言えば適当にお話しすることが出来ますが、ロータリーの今までのいろんな事を考えてみますと、一番感じることは、ロータ

リーは変わってきたと言うことです。

色々な事で思い当たる事があるかと思いますが、私の直接な例をいつもお話する様に、「ポリオ・プラス」計画が実施されたと言うことは、年次を重ねての社会の奉仕を考えた事です。これは世界奉仕でありました。

これは恐らくロータリーは毎年その年の会長さんの発想で新しく社会奉仕を考えて展開していくことに、ロータリーの良い所であった筈です。前の者が計画した事を後の者に遺言を残してそれを守らせると言うことは、ロータリーには無かった事です。ですからRIの本部でもこの問題が出たときは大激論がされたと聞いています。ロータリーは一年毎の奉仕が大原則であった筈なのに、5年間も掛けてこれをやると言うことは、今までのロータリーに反するという議論が出たわけです。聞くところに因りますと、時の会長と事務局長との大激突があって、その年の事務局長は交代させられたと聞いています。これは私共にとっても大変ショックでした。

私の前年ガバナーの上野ガバナーが実施することを、6月の最後のガバナー会で決め、それを7月に私達は、バトンタッチした訳です。「やることを決めたからお前達やれよ」そういうことで突然言われたのです。大変混乱も致しましたし、動転も致しましたが、各クラブを回りお願いをして歩きました。然しながら古いクラブで、よく勉強しているクラブほど反対が強かったです。それは違うのではないかと、反対がありましたが、私は世界の平和をと言うことをロータリーはいつも唱っているが、それでは世界の平和のために何が出来たか、何もやっていないのではないかと、唱っているだけではないか。然しロータリーの力を以て世界の戦争を止めさせるわけにもいかず、原爆を止めさせるわけにもいかない。そんな力はないと。世界中の子供達の生命を救う運動こそロータリーが出来る世界に対する唯一の奉仕ではないか。しかもUNICEF(国連児童基金)と言う組織は終戦後日本の子供達の生命を救う為に組織された団体です。そのUNICEFの食糧の配給で我々の子供達も助かったし、親達もそのお陰を蒙って栄養失調から免れたのです。その恩返しをすると言う意味で協力するのであると、ガバナー会でお話し致しましたら、ガバナーの皆様も「まあそういう事でしょね」と了承されたのです。1人8000円宛5年間お金を集めることは大事業でしたが、これは一応完了をした訳です。反対であったクラブで最後にはその意義を了解され協力して頂きました。これは私はロータリーの一番の大きな変化では無いかと思ひます。

小さいことを言えば色々な行事が、その年々のRI会長の発想で色々な事が出てきましたが、その次になりましたのは女性問題です。女性会員をどうするかという問題です。男女平等のアメリカで、なぜ女性の入会を認めないのかと言う訴えがありまして、その裁判に負けてやむを得ず了承したのです。

これは、ロータリークラブが発足した際一つはアメリカに於いては、ご存じの様に女性がいないとなかなかルールが難しいのです。女性が入ってきますとテーブルの全員が立ち上がって歓迎して、旦那か隣の男が勧めないと椅子に着かない訳です。一事が万事この様に女性を取り扱うルールが難しいのです。開拓時代に女性が少なかったので女性を大事にした癖が残ってしまっていて、この悪い癖が今以て残っていた訳ですが、それを嫌って男達だけで話をしようではないかと言う事が、ポール・ハリス氏達4人の仲間の頭の中にあつた事は間違いのない事と私は思ひます。女性を入れない男の世界を持ちたかったのだと思ひます。

因みに言ひますと何故ポール・ハリス氏がロータリークラブを創ったかと言うとシカゴの町は、最初は何かインディアン達の物々交換する物資の集散地の様な所で、人も何人も居なかったと聞いています。300人位の部落が30年経過したら30万人になり、又30年経過したら170万余人になり、アメリカでニューヨークに次ぐ第2の都市になったと聞いています。

これはただアメリカ人が増えたという事ではなく、どんどん外国から流れ込んだ連中が入ってきた事です。ですから経済の面での貧富の差は勿論、色々な人種、種族が入って来た為に真に大混乱そのもの、そして町が急激に大きくなりましたので、政治ボスとか、経済を握って活躍する者とか、いろんなボスが出てきて、真っ当な人間の考え方が通り難い様な地域、社会状況になってしまった時に、彼等は自分達同志で交流しお互いの商売にもプラスになり、又、社会の為にもこのシカゴを良くするという運動を行おうではないかと言う事が、発想の基本に有った様に思われます。ですから今私達がネクタイなどを締め、この様な会場で集まって紳士の真似事でなく、失礼しました皆様は紳士でおられます。発足当時はこの様なロータリークラブではなく、やはり一つのクラブとして、開拓精神というか、地域を良くしようと言う意欲に燃えて立ち上がったものと思ひます。4~5名で始めたものが、今世界中で100万人を超えており、5年後には会員を150万人にしたいと先日のガバナー会で話がありましたが、この様にどんどん数を増やさんが為に、或いは一つの事業を押し進め

る為に、又、良いことをやるには金が掛かる、金が掛かるから皆様から集めなければならない、人を増やさなければならないと言うことがロータリーの大問題になってきました。

私が、ガバナーにノミネートされ集められて、何を一番初め勉強させられたかという、会員増強の問題、増やせと言う事でした。中には有名な大学の総長を経験された方もいまして、こんなに会員を増やせ増やせと言うならば「ロータリーには魅力がないから、俺は辞める」と言う意見まで出たのですが、然しやはり新しい風を入れなければロータリーと言うものは、だんだん淀んできて、新しい時代に適合する力が無くなるであろうと言う説得も一面にあつた訳です。

今年、ガバナー会が12月の初めにありましたが、もう金の問題が主流で終始しました。金を集めるには人を増やさなければならないと言うことです。

先程、会長さんが三条のメンバーが減ってきていると言われていましたが、私は数の事は分かりませんが、世界のロータリアンの数が減った%より、日本の減った%の方が高いとの説明がありましたから、三条だけではないので、会長さんはあまり神経を尖らさなくても良いのではないかと聞いていましたが、とにかく金の問題は我々にとっては大きな宿命的なもので、例えば「ポリオ・プラス」で人の命を救いますと、今まで自然淘汰と思っていた民族がロータリーのお陰で人の命が救われたが為、我々の食糧「食べる分がドンドン減ってきた」これをどうしてくれるのかと言う問題が後日必ず出てまいります。

ですから、この後、識字問題を取り上げていまして、世界中の子供達に字を教え文化を高めなければならないと言う意見がありますが、私はその前に世界中の子供の命を救ったのであれば、その子供達の食糧をどうするかの問題が必ず付いてき、これがこの次の問題になるのではないかと思ひます。

話が変わりますが、アメリカ大統領選挙の投票問題が最後まで纏れていましたが、これはなぜあんなに纏れたかという、識字率が低いからです。日本人は投票に来る人は何人か字を知らない人がいるかも知れませんが、殆どいません。冗談に日本の投票のやり方をアメリカへ行って教えてやりたいと言っています。

私は選挙管理委員の経験がありますが、実に至れり尽くせりで三条で、20票足らずの票で最終集計が出来なかったことがありました。1時間足らずの間でその原因が分かりました。ある投票所で不在者投票の分を2度集計したものです。それで集計数と投票数とが違っていたと言うことで、一

時間程ですぐ分かりました。日本の投票は一ヶ月も遅れませんよ。アメリカで投票結果があのように遅れた原因は識字率が低い為、投票用紙にパンチで穴を開けるような投票形式にあったと憶測します。アメリカでも識字率が低いため教育の問題が取り上げられています。私はそれより先に命を救った者の食糧をどうするか「ポリオ・プラス」の問題として取り上げなければ可笑しいと考えています。

それから、女性会員の問題ですが、新潟県と群馬県と比較すると新潟県は大体反応が遅いです。募金の問題をとっても両県が同時にスタートしても群馬県はドンドンといきますが、新潟県は金の話になると財布の紐が堅く反応がなかなか遅いです。ところが、婦人会員は新潟県の方が多いのです。女性問題には反応が早いですね。ですけれども三条クラブは未だ女性会員はいません。女性会員を選ぶ難しさは充分心得ていますが、やはりこれからは何とか女性会員を入会させ増やしていかなければならないと思っています。

「会長さん、美人の女性会員を増やすと新しい会員も増え、出席率も良くなる事は間違いないと思います。」と言うのは、保護司会の中に当会が育てなければならないBBS（青少年が保護司の手助けをする団体）のメンバーに1名美人が入ってきましたら、途端に若い男性が入ってきたので、これは良い塩梅と思っていましたら、その美人が嫁に行ってしまったら、途端に会員が減ってしまったと言う例があります。ところが、そういうニュアンス的な、含み的なものがある事は男性と女性がいることによって付いて回るものと思います。私としては女性会員を大勢勧誘入会させるのが我がクラブの問題だと考えてる次第です。

話は戻りますが、我が国のロータリークラブは戦前に結成されたクラブは、戦時中は何か他の名目で会合を開いていたのですが、一時閉鎖されていましたが、戦後これは復活した訳です。新潟県にも入ってき、三条では鈴木さんが大変ご苦労されて、このクラブを創られたのです。

私はチャーターメンバーではありません。チャーターの翌年入会を許されたのです。なかなかあの頃の入会は大変難しく、チャーターメンバーの方はよくご存じですが、入会志望の方は諮問され2名の方からチェックされるとその方は入会できないのです。私が何故入会出来たかという、私の事は誰も知らないでチェックの入れようがなかったのです。私の事を少しでも調べていたらチェックが入り入会出来なかったと思います。そういうことで当時は町の有名人でもなかなか入会出来ませんでした。

それは、某商店の誰々、某会社の社長、皆夫々個性があり癖もありましたので、チェックをつけられ、なかなか入会出来なかったのです。夫れが変わってきまして比較的簡単に入会出来るようになり、良いか悪いかは別として三条ロータリークラブも会員数が増えてきたのです。

ロータリークラブが出来て何が良かったかという、私に会に入れと勧められたのは桑原謙一さんです。それはお前は檀家の人とは付き合いをしているが、檀家以外の三条の人達にも優秀な方が大勢居るのであるから、そういう人達と交流して勉強したらよいのではないかと、理路整然と説得され入会を勧められました。やっぱり坊さんを説教し説得させるのは、お医者さんでなければ出来ません。まあ、そんなことで入会させて貰ったのです。

一つは、ロータリークラブは時間厳守を教えたことです。三条時間とか言って遅く顔を出すのが大物の証拠とか、落語の取りであるまいし後から出てくるのが大物だという観念がありますが、然し新潟県全部そうかと言うとそうではないのですね。

私が、北村さんと亘さんと、亘さんの選挙応援と一緒に歩いたとき、昭和21年3月でした。栃尾から次の会場の荷頃の学校に向かったのですが、雪の中苦労して歩いて行ったのですが、漸く到着しましたら誰も聴衆が居ないのです。どうしたのかと聞きましたら、時間を守らないから解散したと言うことです。栃尾の山に近い荷頃の部落でも時間厳守をしていたわけです。ところが大凡の町では夫々三条時間、燕時間、加茂時間等あり時間は守られなかったです。人が集まる際に時間厳守を教えたのはロータリーだと思います。

もう一つは、縦型の社会から横型の交流を教えたのがロータリーです。今まではどこそこの旦那様あってそこに出入りする者があったのです。そこに一つ宛の縦の交わりがあった訳ですが、それを一切無視して横型の交わり、所謂平等の交わりを教えたのがロータリーです。そして同じ平等の中にも夫々力を持った人、能力を持った人、美しさを持った人等色々な人がいますが、その人達が交流することにより夫々の者が自分が持っている軌道を修正し、より新しい生き方をしたら良いのではないかと言うことが、ロータリーが受け入れられた大きな原因だと思います。

何と言いますか、十日町の山内さんは、ロータリークラブとは地元の旦那衆に行儀作法を教える会であると、私達を笑わせていましたが、こういう点がロータリークラブにありましてその良さとか、理論とかに憧れて入会する人達もあったわけ

です。

当時のガバナーは、殆ど東京の方で私が知っているのでも、柏原商店の柏原さん（新潟県の特別代表になってこられた方）、東京ステーションホテルの田さん、大日本印刷の佐久間さん等が指導に來られましたが、私達は、この様な人々にお目にかかったことがないので、非常に緊張しました。公式訪問には緊迫感があったことが印象に残っています。

前原さんは今でもそうですが、その残された足跡は真に大きく私達がガバナー会に出ましても前原さんの本で勉強させてもらいましたと多くの方から声を掛けられました。又、あの方は厳しく各地のクラブを指導されました。

皆が公平で平等なクラブのメンバーとして集まっている中で一つの学びがあり、緊迫感があり、そしてその中に楽しさがあると言う集まりの良さ、そして目新しさもありました。集まって歌を歌い自分で手を叩いているのは、今から考えると小学校の生徒か幼稚園の幼児の真似したようなものですが、それ事態がフレッシュ感があります。ロータリークラブの歌が歌えないので学校の深見先生から指導をして貰ったこともあります。

この様な中で一つ宛いろんな事を学んで自分の軌道修正をやってきたわけです。

そしてこれからの問題は、「新しい世紀の問題にロータリークラブがどの様に立ち向かうか」になるかと思えます。

あまり時間がありませんので急ぎますが、皆様ご存知の様に新しい世紀の問題は、宗教問題、そして民族の問題、小さく言えば部族の問題、夫々独立をするという問題があります。

もう一つ大きな問題は、人間の世界の秩序のあり方の確立をこれからの新しい世代にどうやるかを考えなければなりません。これは世界的な問題です。

では、日本の問題は何かという勿論経済の問題もあります。それから、もう一つは、民主主義とか輸入思想で物事を言っていますが、果たして我々の身に付いたものとして理解され、機能しているかを考えなければなりません。民主主義というものには、私が言うまでもなく一つのものの考え方、人の生き方のルールというものがあります。そのルールをお互いに認めあって、その上に立脚した個性なり、その人の特徴なりを十分に生かしていく地域作り、社会作りが民主主義社会だと思えます。日本はまだ共通地盤というものが確立されていません。この点に大いに反省すべき問題だと思えます。

例えば、人との交流のあり方についても、戦前

のベタベタしたなにか隣の家の預金通帳の額が分からないと面白くない様な付き合い方、これは農耕文化で地域では同じ条件で生活をしているから、その様に気になるのでしょうか。

ところが今は同じ地域にいろんな職業の人が混在していて違った生き方をしているのが当たり前になってきています。これは当然な現象ですが違う者同士が日本人としてどういう基盤の上に立ったものの考え方、視野でこれから交流していくか、人の交わり方も新しいルール作りというか、日本人らしい基盤作りを考えなければ、この21世紀は明るい世紀とは言えないと考えています。

そして、21世紀の一番の問題は青少年問題と思っています。今、青少年の17歳の非行が言われていますが、何処から起こったか、何が原因なのかを考えなく、やった子供が悪い、やらせた境遇、家庭が悪いと非を鳴らしても問題は解決しません。何が欠けているか、それは私流の独断と偏見で申し上げれば、安定感を欠いているのです。子供が育つときに3歳になるまで、母親が抱いて自分の体温と鼓動を聞かせ、そして自分の匂いを嗅がせて子供に安定感を与えて育てれば、子供はその安定感を死ぬまで失わないものです。そして生きていく途中いろんなトラブルに遭遇しても、それを乗り越えていく勇気と知恵がこの安定感から沸いてきます。この安定感を欠いている為、他人を傷つけたり殺したりするのです。

今、私の孫が学校で、倫理の問題を教えなければならぬが、どの様な話をしたらよいかと聞いてきましたので、それは「人を殺すな、盗むな」が一番の基だと言ひ、そしてまだ守るべきものがある筈だから、その他のことは生徒達に考えさせなさいと言ひました。そして人の踏むべき道と言うものは何をやらなければ、人間ではないんだと言うことを教え、人間として生きていく上に何をしなければならぬかを教えることが倫理の道だと言ひましたが、生意気なことを言うようですが、自分自身反省しますと真に申し訳ないですが、そういう自分自身の言葉に、なかなか付いていけないところがあります。

私は、これからの時代はIT革命と言われていますが、此に因っていろんな情報が入って来ます。ものすごい情報量が入ってくるけれども、それを咀嚼して解釈し自分に取り入れるには何が必要かと言うと安定感、もう一つは人との交わり方、この様なものが基本的に人間の心の中に育っていなければITと言うものは、武器になり弱肉強食の道具になる恐れがあると私の独断と偏見で考えています。

大変話が飛び飛びになり真に申し訳ございませ

んが、新しい世紀のロータリークラブで何が大切か、今大切なことは、人の心が分かる人間を育て自分も人の話に耳を傾け、人の生き方に学んで生きて行こうという基本姿勢でなければなりません。

色々なことを言いましても何か空しいものになる恐れがあります。私は嘗てガバナーレターに書いたことがあります、「味噌臭い味噌は上味噌ではないよ」あまりロータリアンらしい講釈すると偉そうに聞こえるけれども、誰もついてこない面があります。ロータリアンらしい生き方というものは「自分の生きる姿に於いて此を示す」というものだと思います。

以上話が飛び飛びになりましたが、有り難うございました。



## 例会案内

三条RC	1月17日例会	ロータリー理解推進月間 卓話 五十嵐総一会員
	1月24日例会	卓話 三条市長 高橋一夫殿

### メイクアップをどうぞ

三条南RC	1月15日例会	通常例会
	1月22日例会	通常例会

三条北RC	1月16日例会	クラブ・フォーラム
	1月23日例会→24日(水)に	社会奉仕事業「大島 彰講演会」 於 地場産業センター

加茂RC	1月18日例会	クラブ・フォーラム
	1月25日例会	通常例会

燕RC	1月18日例会→21日(日)に	夜例会 通算2000回例会祝賀会
	1月25日例会	会員卓話

見附RC	1月18日例会	通常例会
	1月25日例会	新年例会